

丸山湿原群保全の会会報

(第158号)

発行日：2020年(R2)9月16日 編集/発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788
090-1895-8061 (今住)

E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com



9月に入り、稲刈りも本格化…と思ったら8月のカラカラ天気は一転。天候の不安定な日々が続いています。台風や雨降り前に刈り取りをしておこうとコンバインが走り回り、作業にてんやわんや。しかし、突然のスコールのような雨も。もはや亜熱帯のような気候です。雨が降ると倒伏も。機械にはトラブルが。イライラと経費がかさみます。しかも暑い！

気候の影響もあるのか今年はウンカ(昆虫)被害が目立ちます。田んぼに突然現れる壺枯れ。それが広がると田一面が枯れてしまいます。享保や天保の大飢饉もこのウンカが主たる原因だとか。

アラビア半島で大発生したサバクトビバッタも各国に広がり話題になっていました。ウンカ(トビロウンカ)も梅雨期にジェット気流に乗って中国大陸から日本に移動し、広がっていくようです。寒さには耐えられず越冬はできないようですが、この気候、ひょっとするとひょっとする時代が来るかも…。日本では農薬の効果的な散布ができますが…。意見はいろいろありそうです。

今回は「農業新聞」のようでした。

(今住 9月13日作成)

定期活動

★8月23日(日) 定期活動 9名で活動 サギソウ開花数調査センサスライン撤去 観察

コロナ禍の中、無事にサギソウ開花数調査も終わることができました。一週間放置したセンサスラインの撤去作業です。今年のサギソウは数が多くたくさんの方が見に来られました。この一週間、ライン(紐)が見苦しかったのではないのでしょうか。ご勘弁ください。と言っても今回は私不参加。



うん？顧問？ 紐の巻き取り

まだまだサギソウは多く開花。「な～つのお～わ～り～♪な～つのお～わ～り～は♪」という雰囲気でしょうか？(行ってないので…。) いや「盛夏」？いつまで続くやら…。

片付けは悩まず出来るので時間はかかりません。ただのくくり紐ですが、ホルダーにまとめられるものはまとめ、また来年使います(リユース)。サスティナブル社会を目指します。「小さなことからコツコツと」古いですが大切なことだと思います。これからは素材にも注意が必要です。

その後観察。ツルリンドウ(蔓竜胆)やヒナノシャクジョウ(雛の錫杖)ホンゴウソウ(本郷草)が目にとまりました。

ぼちぼちマムシ(蝮)の出産期(卵では産まない=卵胎生？胎生？)。この時期は神経質になるそうなので気を付けてください。

ちょっとミニ知識。マムシは貯精するそうで、前年に交尾し翌年メスの中で受精。約90日の妊娠期間後出産となるようです。カメも貯精したな。ただ、種類によっていろいろ。一様に貯精するかはわかりません。昆虫もか？みんなひとくくりにするとうんざり起るよう



暑い中頑張ります また来年



マムシ ヒナノシャクジョウ添え 26日

で。ステレオタイプはいけないとつくづく感じます。これが生物多様性理解か？エッ？アカハライモリもするってよ！セトウチサンショウウオはしないね。いやひょっとすると…。卵囊の中にすでに仕込んでることも？世の中ワンダーランド。

★9月4日（金）西谷小学校環境学習 1回目（座学） 2名

今年は実施が無理かと思っていた小学校環境教育。カリキュラムの中には入っているので未履修というわけにもいかないのではと思っていると…。連絡が入りました。初夏のフィールドを1回飛ばすことにはなりましたが、9月の座学（事前学習）10月と2月のフィールド学習の計画となりました。



おじさんパート1 湿原とは？



おじさんパート2 ベっぴんさん紹介中

さらに丸山湿原の特性（貧栄養）、保全の会の活動紹介。様々な問いかけに見事に答えてくれました。「答えを事前学習してんのとちゃうか？」と思うほどに。

この子たち、実は2年前（1年生時）にも教室を覗いていました。3学期のオープンスクールです。「もうすぐ2年生だから自分たちだけで給食の準備ができる」と会報にも書いていました。（バックナンバー139号）昨年のメンバーもごきげんに楽しかったけど、今年もフィールドが楽しみです。

おじさん2発目は水田さん。「丸山湿原で見られる生き物」。毎年バージョンアップ。今年は見られないがソーセージのようなツチアケビ。鳥のようなトキソウ・サギソウ。宇宙人のようなミズトンボ。湿原一のベっぴんさんサワギキョウなどなど。写真の美しさに子どもたちも引き込まれていました。セトウチサンショウウオやニホンアカガエル。昆虫の紹介も。加えてキノコ類の紹介まで。子どもたちの反応の良さに身振り手振りもかわります。マスクで男前が隠れることに地団駄を踏みながら。

「俺のスペックはこの程度ではない。フィールドでこそ発揮できるのだ！次回を待ってる！」と心の声がオーラとして漏れていました。後日担任の先生から「あの日以来子どもたちが興奮して、やたらに水田さん今住さんと話しています」と連絡がありました。変なパウダーでも知らぬ間に蒔いてしまったのでしょうか？担任の先生も里山には興味があるようで、松尾湿原（「自然の家」内 宝塚市天然記念物）には行ったことがあるそうです。卒論も「里山と環境教育」？のような内容とお聞きしたような…。間違っていたらごめんなさい。しかし次回フィールド（10月6日）が楽しみです。



ちょいちょい合いの手？の担任の先生

★9月5日（土）ガイド研修ツアーin 中池見湿地（福井県敦賀市）14名参加

すべてがコロナの影響で予定が組めない中、細心の注意を払いながら行ってまいりました。今回は一般募集はせず「保全の会」会員のみでの単独事業としました。（いつもは一般参加OK）時期が決められず、**遅らせたおかげでGoToトラベルに乗っかることもできました。**バスは検温計やクレベリンの加湿器を装備。こちらも予備のマスク、消毒用アルコールと念のいったツアーとなりました。



ガイドの藤野さんと監督を一つ越えたところにあります。標高も低くいわゆる低層湿地かと思っていたのですが…。**驚くことに地下に40mもの泥炭を蓄えているそうです。**世界でも唯一と言っていいほどの堆積。「袋状埋積谷」と言う逆断層によって出来た基盤が水を池のように溜めているそうです。10万年前からの堆積で出来た泥炭。氷期2回？



広い！暑い！中池見

江戸時代から昭和まで水田として利用。腰まで泥につかり「田げた」「田舟」を利用しなければ入れないような深田。

1990年代に大阪ガスが土地の大部分を基地用地として買収。しかし軟弱地盤のため諦め、敦賀市に寄付したようです。昔からマニアの中では貴重種の宝庫。保護運動が起こり、今回ガイドをお願いしたNPOもナショナルトラスト運動で土地の一部を所有しているそうです。



徹底したコロナ対策

その後放置された田んぼにはヨシがはびこり遷移が進むと思われていたのですが、ヨシ原を利用するノジコ（渡り鳥IUCN RDB2類）が渡りの中継地として利用できるようになりラムサール条約登録地に。相当のご苦労があったようです。

次にやってきたのが「北陸新幹線」。すぐ近くにトンネル建設が。中池見から出水するのではないかとルート変更を要望。新聞やニュースでも話題になっていました。敦賀市は聞く耳を持たなかったようですが、何とか数百メートルずらすことに成功。その後工事は着々と進んでいます。最近になって敦賀市は「中池見保護には金は出さない」と明言したとか？

いろいろあるようです。国定公園内の市の土地。県・市が保全の先頭に立つはずが…。よくわかりません…。あくまで一方からの聞き取りです。

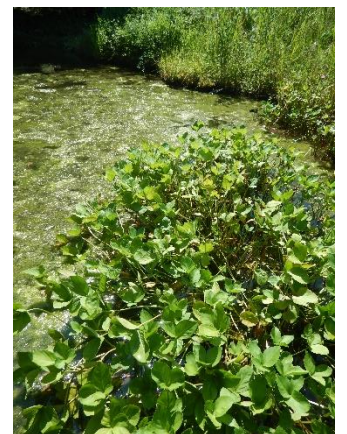
湿地は元が水田なので水田生態系植物が多く見られました。

ところが「氷河期の生き残り」と言われるミツガシワも。ミズアオイやヒメビシ・トチカガミ・ミクリ・デンジソウ・ミストラノオなど西谷では見られないものも多く見られました。

ガイドの藤野さんは穏やかな話し方で、ガイドのあり方を教えていただいたような気がしま



水田の中のミストラノオ



氷河期生き残りミツガシワ

す。サブで入っていただいた方もいて、大変充実した1日を過ごすことがで

きました。感謝申し上げます。約2時間半で行ける距離。ぜひお訪ねください。



デンジソウ (シダ植物)



ヒメビシ西谷にも残っているかも？これそ生物多样性…参加者とガイドの記念撮影



★9月12日(土) 定期活動 定期基礎調査 7名で活動

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導度 (EC)	PH
丸山	111	42	入口	10:03	27.9℃		
ハイキング	23	75	第3湿原	10:21	【25.9】	59.8 μS/cm	7.1
散歩・登山	44	10	視点場	10:34	31.9℃	37.7 μS/cm	7.0
来場者数 計 305 人 (竹筒ポスト人数)			第1湿原	10:49	【28.0℃】	58.7 μS/cm	7.0
			第2湿原	11:14	【24.7℃】	50.1 μS/cm	7.0

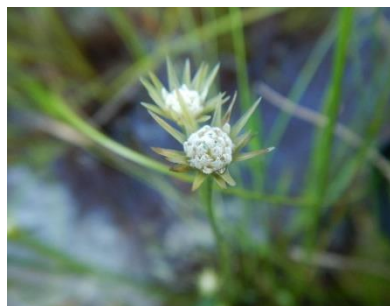
夏から秋にかけて移行時期の湿原です。サギソウは見当たらず。ハッチョウトンボ(ハ丁蜻蛉)はいない？と思ったらまだ元気に飛んでいました。ミズトンボ(水蜻蛉)もすでに終了。スイラン(水蘭)が咲きかけでした。そうそう湿原の「べっぴんさん」サワギキョウ(沢桔梗)が盛り。なかなか群生とはいきませんが、すっきりと陽光に輝いていました。この日も暑く、天候は不安定。積乱雲がニョキニョキ。夏雲です。天気予報では、秋の気候に、と聞いたような気がします。さてこの陽気、いつまで続くのやら。



べっぴんさん サワギキョウ

前回の EC データですが、間違っていたかどうかは結局わかりませんが今回は 50 台と安定。しかし水量は少なく、天候不順のわりに雨量は少ないように思います。

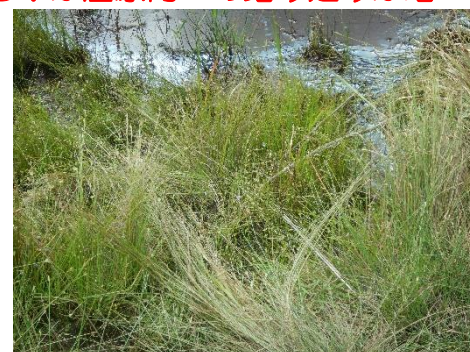
サギソウと入れ違うように、低層の植物はシロイヌノヒゲ(白犬の髭=ホシクサの仲間)やミミカキグサ類(耳掻き草)が多く咲きだしました。ヌマガヤ(沼茅)も穂を出して来ました。今年は何の程度湿原を覆うのか？冬場の刈り取りが楽しみ？です。はー▽



シロイヌノヒゲ

ちゅうちゅう！ここは道が出来たらあかんとこです。お気を付けてください。我々も調査(観察)と称して入ってるしな～。道作ってるのかな？くれぐれも柵内への侵入はお控えください。

会員がさらに増えました。マムシの画像はその方のもの。ヒナノシラクジョウとのコンビ！命がけ？(気を付けてください)



ミミカキグサ類と踏み跡(道?)

次回活動 9月27日(日) 10月6日(火) 環境学習 10日(土) 25日(日) 11月14日(土)